



しめぐさやうたを

もけおのうおーおあめいふを月  
るうつてはらとりたては代のあ  
あは川のきて文永十一年う我  
天仙洞美草の志あめかし  
やこれ一返きの事えりける伊  
機叟の清幸乃儀もまため  
かーりたのりーに美山院お  
大臣ちいあしそりあける  
殿上人一人實俊いよさ中將  
了はらうつる水面清浄身法毒の  
百次清坐<sup>牛丸</sup>ひやくも先院のふ  
きれあめを海つ遊も<sup>おぼ</sup>ら<sup>ま</sup>  
涙おものらようみてたきき  
平つる事れいのちけらさる  
これあまりの志の代りもてあ  
るひもれとてむらおらま  
清きのを急道風うはなれ  
も記つてくたをたさひ  
これあをたつてくたの  
を焼くまらけりる

あ







Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, located on the right side of the page. The text is arranged in vertical columns, reading from right to left. The characters are fluid and connected, typical of a personal letter or a note. The ink is dark, and the paper shows signs of age and staining.

あし





内藏山崎のまげら　くらんく  
くらんかまきり　つ山城の  
をほよ内藏　あまやぶら  
くらんきり　馬廻もまや  
かまきり　中將隆良相  
少將まきり　わらわりの  
ハ舞樂の夕を　風流ま  
かまきり　弘長割符の  
束吾人　馬廻  
まきり　わらわりの  
まきり　わらわりの



未若人ル王ヤクモヲ持テ馬割  
スウリナリウラシ清キヤモ祈リ  
清クシカヒルモタテ何ノトク  
如使ル命輝花人ハカマホコ志  
片葉院カモクモクハ根ナリハ根齋  
每一葉の大略をヤク典侍神  
精ナクモシメテ紫野ノウツリ  
あ西いなとも有り〜モモ系乃  
像式トは〜シカワ〜を元久  
の〜モモウハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ  
リ諸家のつらひハな〜ハ〜ハ  
〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ〜ハ

大明神の靈威を詠〜

心〜敬神の〜を

〜ハ〜ハ〜ハ

ナア

〜ハ〜ハ〜ハ

〜ハ〜ハ〜ハ

〜ハ〜ハ〜ハ

〜ハ〜ハ〜ハ





あをり  
あをり  
あをり

























大官院も間道より濟章あやなま

事とこゝひあゝたまる榎のこゝろ

いまの事ものやを刻限よ花の

心と道信男女とよれをちり

ひちよあしかをりらちよ孫傳佛

乃名をとまゝくひらとひあこ

まゝらひむね新新よまゝすこゝろ

なりたろくのしりゆく内院のけ

ちうひもまねとしくりや也上人

無極及心をあはれ統んやこ

わたりあゝ新なりなるすま統



無極乃心をあははせ統んゆき  
わさのりあし終るりなる可也統  
志し免んよ中つるる看督長  
福をつるまより大理の法り建人  
をわしの母乃やをこそきりきり  
延尉佐乃ハ志るま母を四代を  
かのハくくくろま母をこつて  
をいさむ怒りくのみ申指北  
遣使のふ苗延尉佐なりと  
もたあきけきくくあは看督  
長乃禮儀もなりは指北遣  
使も六位五位あまあり  
きりくを書らはま母を延尉佐  
及上指北遣使なりと

車わくく休を

くくく

ちのくきまた

了の事を

やま





ちのくちまた  
この事を  
あやま





















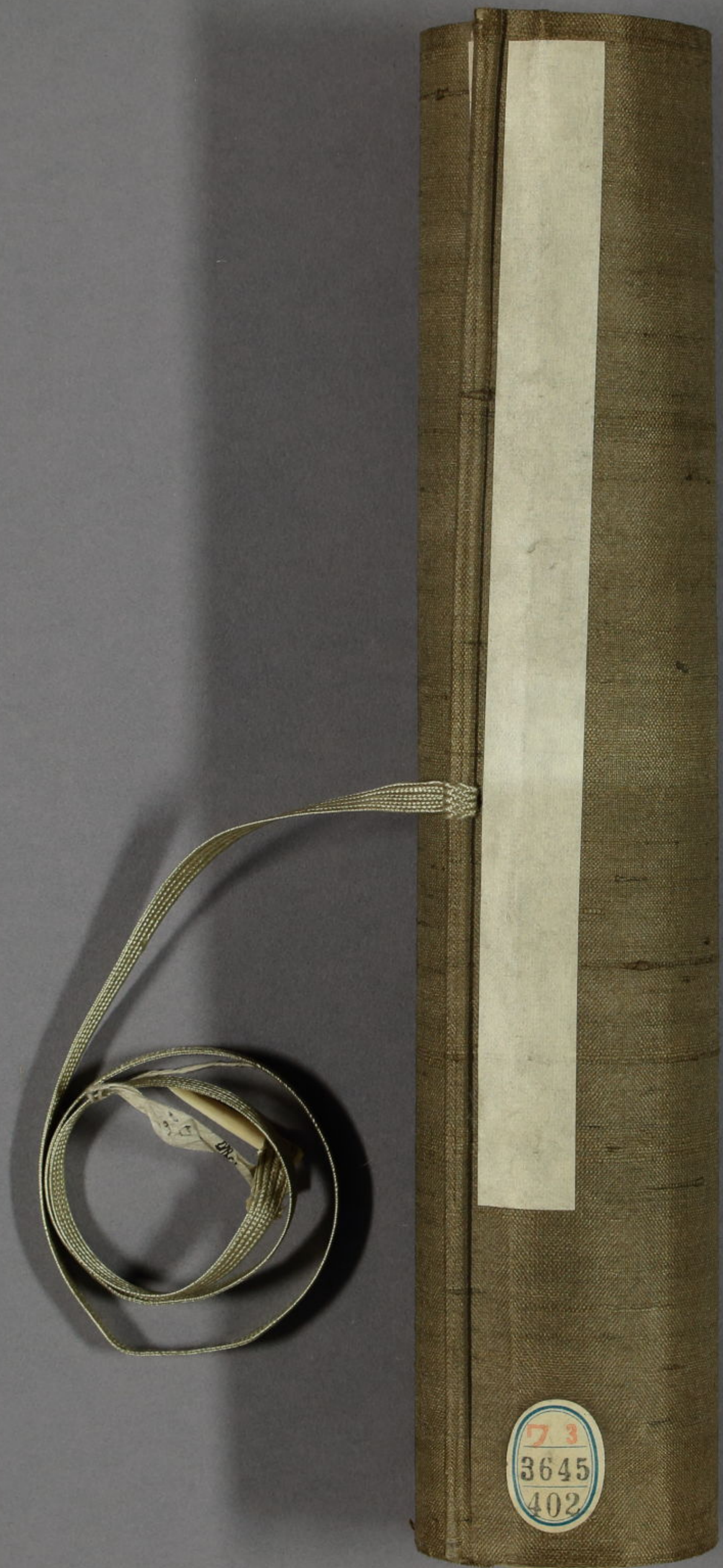
















73  
3645  
402

文永年中

賀茂祭圖

御幸圖

末闕

73  
3645  
402

しめぞとやうに

もけふのうらなひに

あつたけをりたるは

あま川をきて文永十一年

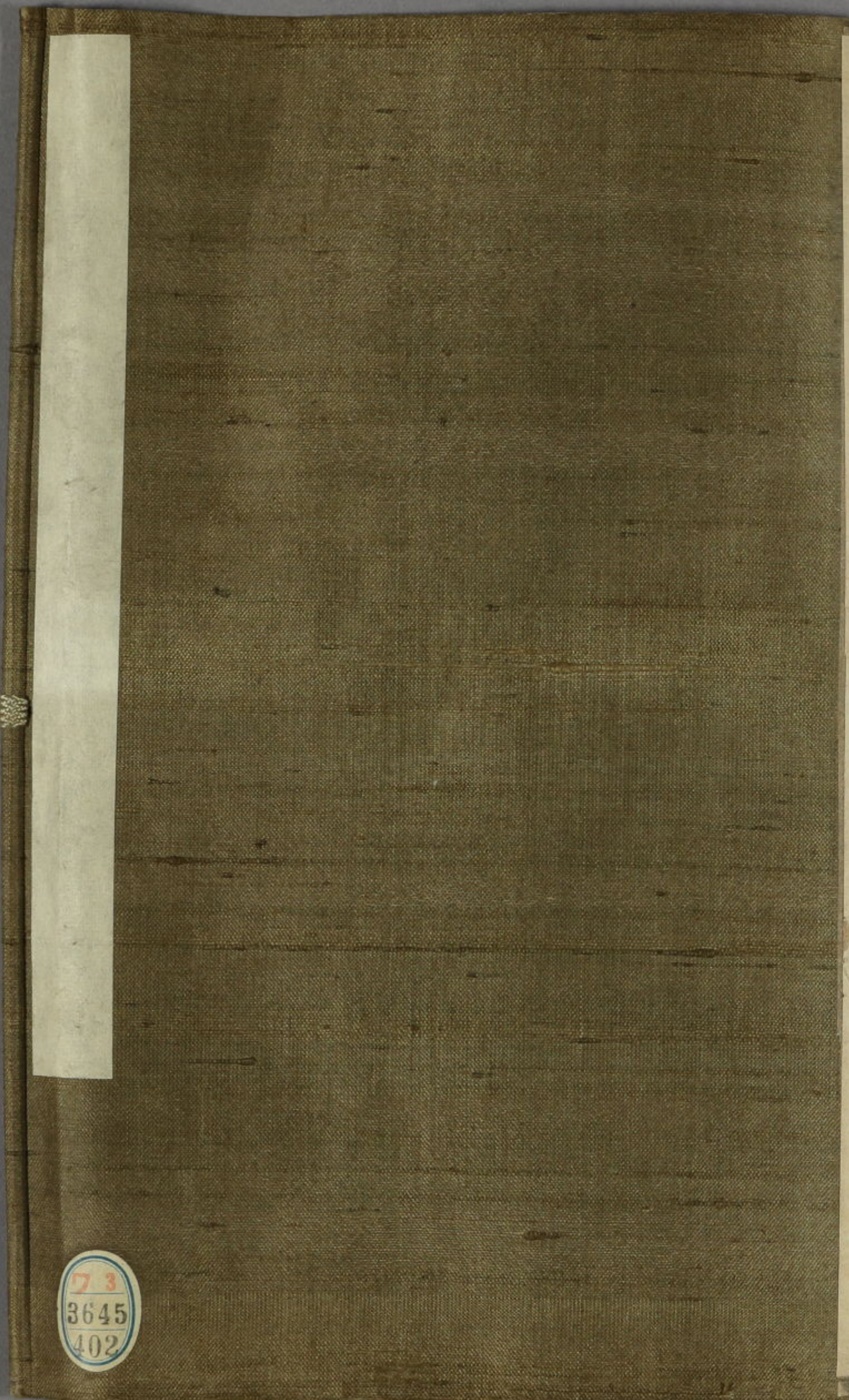
天仙洞美草の志

やこれ一返に

機叟の清幸乃儀







73  
3645  
402

